

平成22年度 高速道路無料化社会実験

[北陸ブロック版]

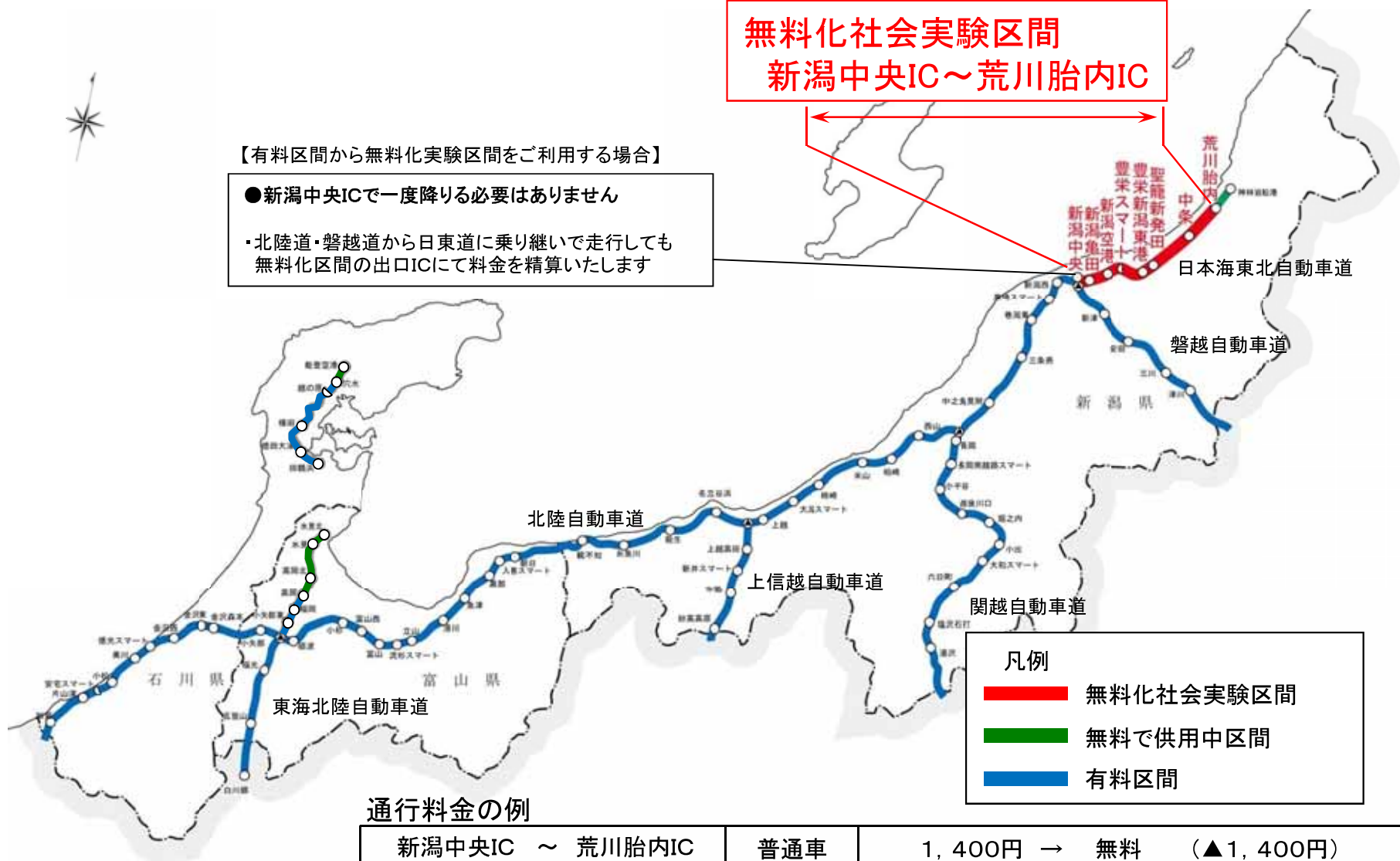
平成22年6月15日
国土交通省北陸地方整備局
NEXCO東日本新潟支社

平成22年度 高速道路無料化社会実験区間について(北陸ブロック)

無料化社会実験区間
新潟中央IC～荒川胎内IC

【有料区間から無料化実験区間をご利用する場合】

- 新潟中央ICで一度降りる必要はありません
- ・北陸道・磐越道から日東道に乗り継いで走行しても無料化区間の出口ICにて料金を精算いたします



通行料金の例

新潟中央IC ~ 荒川胎内IC	普通車	1,400円 → 無料 (▲1,400円)
	大型車	2,200円 → 無料 (▲2,200円)
長岡IC ~ 荒川胎内IC	普通車	2,800円 → 1,600円 (▲1,200円)
	大型車	4,500円 → 2,550円 (▲1,950円)

無料化社会実験による特定重要港湾からの物流コスト引下げ:新潟港の例

- ・ 特定重要港湾「新潟港（新潟西港・新潟東港）」は本州日本海側最大のコンテナターミナルを擁する環日本海物流の一大拠点。
- ・ 日東道の無料化実験により、グローバル化が進む地域産業の物流コスト引下げに貢献。



新潟東港 ~ 三条市（三条燕IC）

[料金(大型車)]

①定価料金	②実験料金	①-②
2,150円	1,400円	▲750円

[所要時間]

①一般道 (52km)	②高速経由 (52km)	①-②
1時間8分	43分	▲25分

新潟東港 ~ 村上市（神林岩船港IC）

[料金(大型車)]

①定価料金	②実験料金	①-②
1,350円	0円	▲1,350円

[所要時間]

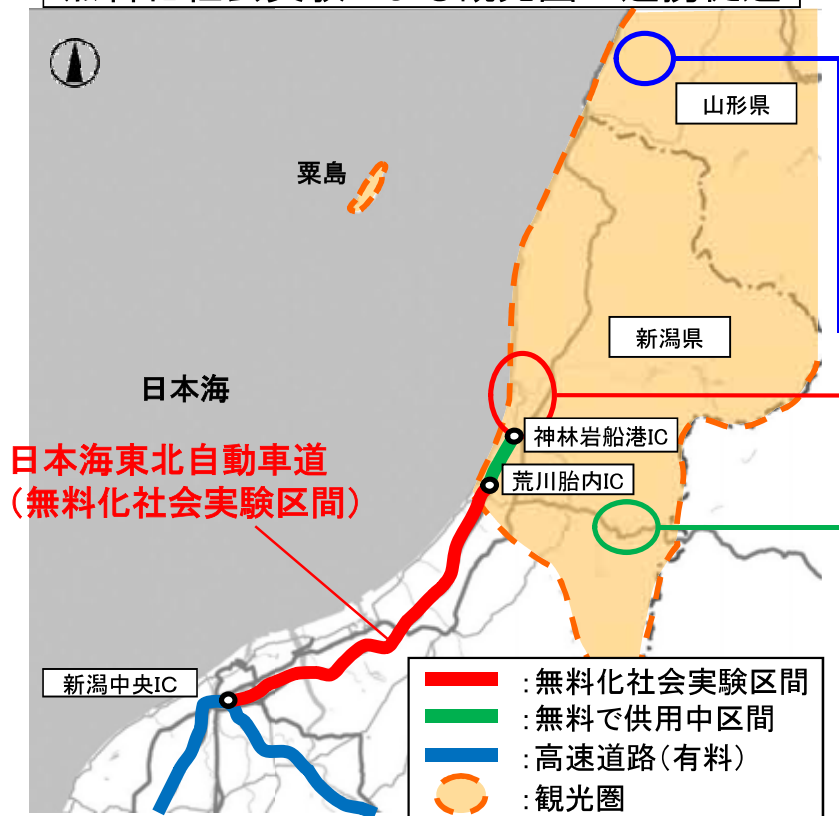
①一般道 (46km)	②高速経由 (38km)	①-②
1時間2分	35分	▲27分

観光圏と無料化社会実験の連携：日本海きらきら羽越観光圏の例

日本海きらきら羽越観光圏の目標※として観光誘客数の年平均3%増や、宿泊客数年平均1%増などが設定されており、日東道の無料化社会実験により、観光圏の連携が促進され、更なる効果アップが期待されます。

※H25年度までの5年間の目標

無料化社会実験による観光圏の連携促進



日東道 新潟中央IC～荒川胎内IC(普通)
定価料金:1,400円 ⇒ 実験料金:0円

日本海きらきら羽越観光圏

テーマ『日本海、山の神々、舟運、食を通じたおもてなし』

○ 地域の課題

周辺観光地や体験施設との連携が十分でなく、滞在時間の短い日帰り通過型の観光地となっている。

あつみ温泉地区

- ・開湯1,000年
- ・江戸時代から湯治場として繁栄
- ・朝市、足湯、休憩所、カフェなど
- ・そぞろ歩きのできる温泉街



瀬波温泉地区

- ・豊富な湯量と温度の熱さが自慢
- ・眼下に日本海を望むロケーション
- ・新鮮な海の幸、村上特産の味覚



関川温泉地区

- ・平成の名水百選「荒川」
- ・4つの温泉地による温泉郷
- ・重要文化財「渡邊邸」「佐藤邸」
- ・大石ダム湖畔県民休養地

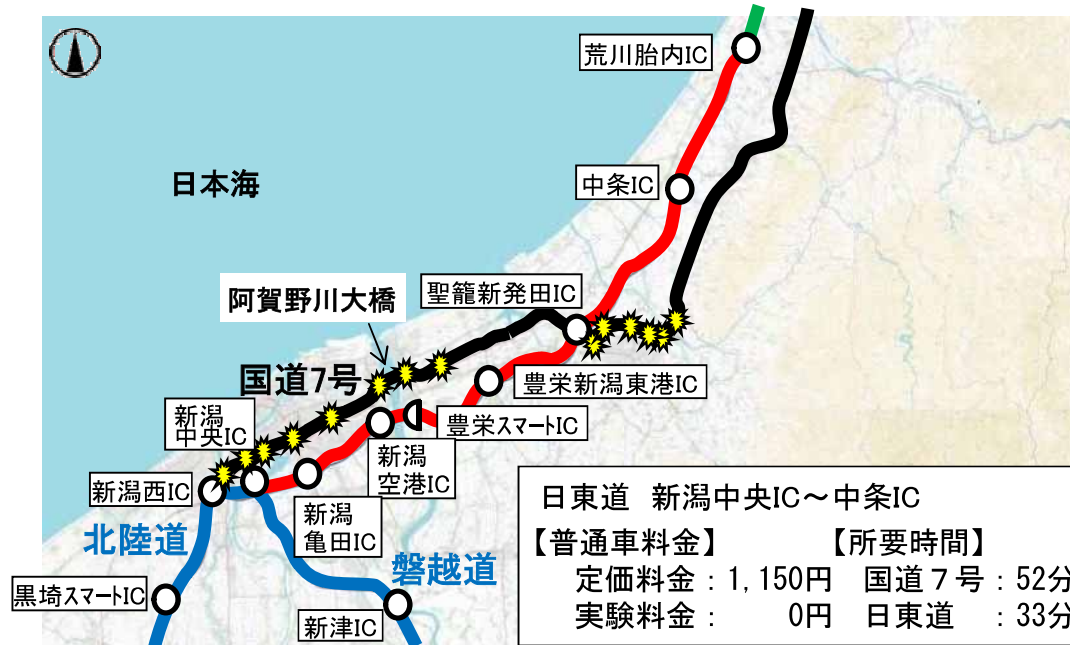


写真:「日本海きらきら羽越の旅」HP(<http://www.mokkedano.net/kirakira/>)より

※この他、無料化実験区間沿線の5市町村が連携して観光施設の割引クーポン付のチラシ配布などを予定。

無料化社会実験で期待される効果: 並行する一般道の渋滞緩和[日本海東北自動車道の例]

日東道への転換が促進されることにより、国道7号の渋滞緩和や所要時間の短縮が期待されます。



- 高速道路(無料化実験区間)
- 高速道路(無料で供用中区間)
- 並行一般道
- 並行一般道の混雑多発箇所



国道7号 阿賀野川大橋付近 渋滞状況

国道7号の現況と期待される効果(阿賀野川大橋付近)

